



茨城大学へようこそ

大学教育センター長 佐藤 和夫



一年生の皆さん、ようこそ茨城大学へ。皆さんは大学教育4年間のスタートを切りました。ゴールを目指して一直線の人もいれば、ゴールがよく見えてない人もいるかもしれません。「迷うは人の常」、当然のことです。ですから大学には案内人がいます。まず入学者全員、そして学部や学科ごとのガイダンスがあり、これから学ぶべき道筋、つまりカリキュラムを始め、学内施設の利用の仕方、生活上気をつけるべきことなどさまざまな案内をしてくれます。よくわからないことがあったら、遠慮なく尋ねてください。尋ねることは学生生活の重要な一歩です。

一年生はまず教養科目を中心に勉強を始めます。教養科目は幅広く人文・社会・自然について学び、外国語や健康・スポーツの習得をし、加えて分野を横断して総合的な視野をも獲得しようとする欲張った入り口であり、たくさんのメニューが用意される贅沢なコースでもあります。食べ過ぎると消化不良になります。ガイドのアドバイスに従って適量をお摂りください。

「知らぬが仏」で、知らない幸せということもあります。しかし皆さんは知識や知恵を得る道を選んだのです。「不愉快な真実」にも触れなくてはなりません。もっとも知ってうれしいことの方がはるかに多いはず。しっかりと教養のコースを味わったら、さらに水戸、日立、阿見で専門のコースに進んで深く学んでください。

そしてもう一つ。優れた教育実践（GP）として文部科学省に選定された「就業力育成支援」のプログラムが今年度から始まります。これは卒業して社会に出てからの力をさらに伸ばそうとするものです。皆さんの成長とともにプログラムも充実していきます。どうぞご活用を。

この大学で学んだことが後の皆さんにとって良い思い出になりますように。私たち教職員はそのお手伝いをします。ではしっかり学び、元気に遊んでください。

追記：今回の大地震で被災された方々には心から御同情とお見舞を申し上げます。本年度のカリキュラムは履修案内どおりには実施できないと思われれます。掲示等で通知しますので、見落としのないようお願いいたします。

（前・大学教育センター長 森野 浩）

ローザ・プルムラ 第42号

（平成23年度4月発行）

目次

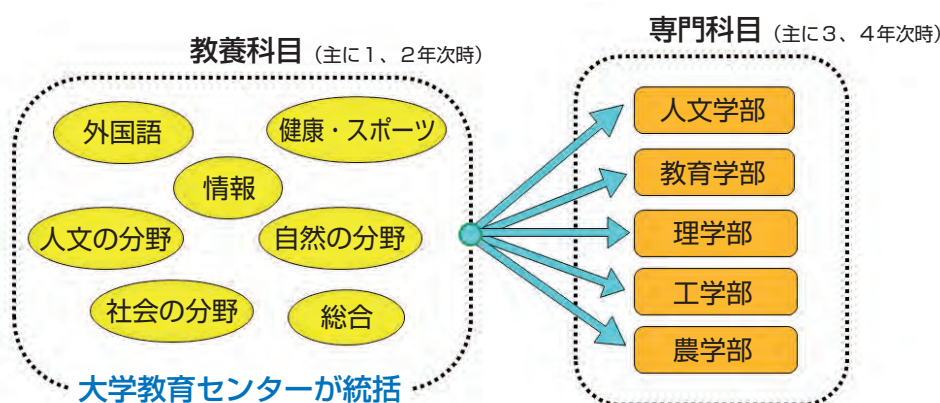
巻頭言 茨城大学へようこそ.....	1
大学教育センター紹介 ・大学教育センターってどんなところ？…	2
・大学教育センター専任教員紹介	
・総合英語	
・理系基礎教育	
・根力（ねぢから）育成プログラム	
水戸キャンパス便利帖.....	6
お知らせ・学生の声.....	8

大学教育センター紹介

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！これから2年間、みなさんが学ぶのは、主に「教養教育」に関する科目です。茨城大学の教養教育は、大学教育センターというところが主体となって運営しています。今号のローザ・ブルムラでは、これからみなさんとの関係が深くなる大学教育センターについて紹介します。

大学教育センターってどんなところ？

大学教育センターの大きな役割のひとつは、教養教育の運営です。教養教育（教養科目）とは、みなさんが主に1年次、2年次で習得をめざす科目群であり、下の図のように、外国語（英語やドイツ語など）やスポーツ、情報など、全ての分野の基礎となるような内容が中心になっています。また、人文・社会・自然などの各分野の基礎習得をめざす授業が幅広く用意されており、後の専門教育（専門科目）への土台作りとなるように計画されています。



このように、教養教育の運営に責任を持つのが大学教育センターです。センター専属の専任教員もいて、主に教養科目を担当しています。もちろん、教養科目にはたくさんの授業がありますから、各学部にも所属するたくさんの先生方が教養教育の実施を支えています。茨城大学の教養教育は全学出動体制であり、それらを統括しているのが大学教育センターです。

茨城大学の教養教育の中で、大学教育センターが特に力を入れて展開しているのが

『総合英語』 と 『理系基礎教育』

です。このふたつは茨城大学の特色ある取り組みとしても知られています（後のページで、もう少し詳しく説明します）。

大学教育センターは他にも、茨城大学の教育に関して次のようなことを行っています。

- ★eラーニングの推進活動（茨城大学のeラーニングシステム RENANDI、ALCの運用・管理）
- ★授業改善のための活動

お知らせ

今年度は、前学期と後学期に教養科目（総合科目）『茨城大学の学問を楽しもう』の開講が予定されます。自然、環境、文化、歴史、健康など様々なテーマについて、学長や副学長、学部長らがそれぞれの専門的視点から講義します（授業は毎回担当者が変わるオムニバス方式です）。いろいろな学問の「入り口」が体感できると思います。どうぞお楽しみに！

大学教育センター専任教員紹介

大学教育センターには、現在6名の専任教員がいます。それぞれが各自の研究分野（専門）に関係する授業を担当しています。みなさんと授業でお会いすることもきっとあるでしょう。

それでは、専任教員からのごあいさつをどうぞ！（かっこ内は主な担当科目・分野です。）

上田 敦子 先生（総合英語 Level 1）

専門：外国語教授法

ひとこと：茨城大学に入学したみなさん、こんにちは！総合英語を担当している上田敦子です。語学は毎日触れて使って上達するもの！授業だけが勉強ではありません。なるべく毎日触れるようにしてくださいね！



有田由紀子 先生（総合英語 Level 2）

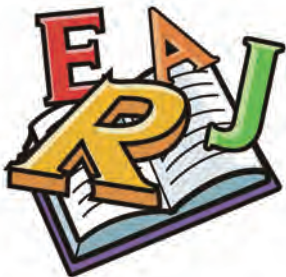
専門：英語学（語用論）、英語教育学（多読と語用論の相互作用）

ひとこと：新入生の皆さん、茨城大学へようこそ！総合英語の授業で使える英語を楽しく身につけていきましょう！皆さんと一緒に学ぶことを楽しみにしています！ Have a great time at Ibaraki University！

岡山 陽子 先生（総合英語 Level 4）

専門：外国語としての英語教育

ひとこと：総合英語レベル4では難しい英語を楽しく学ぶことを目指しています。課題も個人で行うものからグループで行うものまでいろいろあります。クラスの中で友達をたくさん作って、皆で協力しながら学んでいきましょう。



吉田 宏二 先生（物理）

専門：固体物性物理（磁性、超伝導）

ひとこと：公式の暗記に苦勞し、物理嫌いの人は多いでしょう。でも桁の多い計算を1つ1つ丸暗記する人はいません。基礎知識の修得こそが大事であり、物理学習にも当てはまります。するときと物理の楽しさが見えてくるでしょう。



梅原 守道 先生（数学）

専門：偏微分方程式（流体現象の数学解析）

ひとこと：新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！大学で学ぶ数学は、一段と（？）近寄り難く感じてしまうかもしれません。1年生のうちが肝心だと思います。困ったら、あまりひとりで悩まずに『理系質問室』へgo！皆さんからの積極的な質問・相談をお待ちしています。



宇野美由紀 先生（情報）

専門：離散数学（離散幾何・応用暗号）

ひとこと：皆さんは自由な時間やお金が増えて活動範囲が格段に広がるでしょう。興味があることを気ままに試してもよいし、目標があればそれを極めてもいいでしょう。担当の情報処理概論の授業でお会いするかもしれませんね。楽しみにしています。



大学教育センターの取組① 総合英語

高校での英語基礎力をもとにさらにレベルアップした英語を学習できる「総合英語」を紹介します。入学時の英語力に応じてレベル1～3に分けられ、レベル3修了が卒業要件となっています。レベル3修了後はレベル4及びレベル5やEAP（学術英語）を選択できます。各レベルの特徴は次のとおりです。

レベル1 基本的な文法や語彙を、楽しく、多読多聴などの高校英語とは異なったアプローチで学びます。さらにシャドーイングコンテストでは、感情をこめネイティブのようなリズムでの英語を披露できるようになります。「英語は決して苦手科目ではない！」をモットーにしています。

レベル2 日常生活に関する話題について実践的な英語基礎力をつけていきます。教科書学習の他にプロジェクト的タスクを4回実施し、英語で調べ、エッセイを書き、発表するという経験を通し英語が使える楽しさを実感していきます。

レベル3 レベル3は、レベル4及びEAPへ繋げ、さらに学部で必要とされる英語力養成を目標としています。

日常的なあるいは社会的な話題に対して、2分間以上の会話を成立させられるコミュニケーション力に始まり、最終的な目標として、300ワードのエッセイの書き方を学び、3分間のプレゼンテーションを行える力を養います。National Geographicのauthenticな美しい映像を見ながら世界の英語を堪能することができます。

レベル4 社会問題に関して、「5分間の発表をすること」と「500語以上でレポートを書くこと」の2点を目標にしています。Research Questionsを設定し、リサーチの仕方、文献引用方法も含め、エッセイの本格的な書き方を学びます。これにより、大学生として社会問題についても発信できる大きな英語力がつくこと間違いありません。

レベル5およびEAP レベル5では特に社会的な問題に対してディベートできるだけの英語力を培います。EAPはTOEICなどの英語検定試験に対応したクラスや各担当の先生方の専門的な英語を学べます。



14 番教室での授業の様子

全学生は学内外どこからでも **ALC NetAcademy（アルクネットアカデミー）** を使ったeラーニングが可能です（アドレスは <https://alc.ibaraki.ac.jp/anet2/>）。図書館2階には多くの英語多読用本が用意されており豊富な学習ができます。以上のように、英語の得意な学生はさらなる英語の深遠さに触れ、苦手意識のある学生も「目からうろこ」のように英語の魅力を再発見することでしょう！

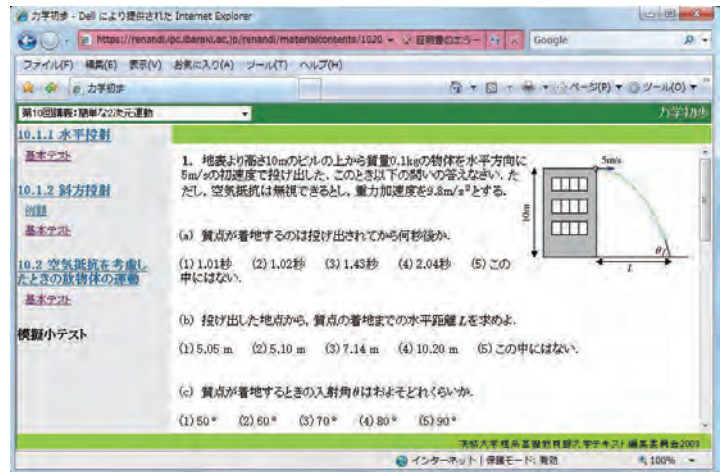
大学教育センターの取組② 理系基礎教育

数学などの理系科目では、基礎からの積み上げ型の学習が必要であり、段階ごとの確実な習得が求められます。また、異なる習得状況にある多様な学生に対して、それぞれに合ったやり方で意欲と自律性を引き出す必要があると考えられます。茨城大学では、これらのことに応える体系的で効果的な理系基礎教育プログラムを提案しています。このプログラムは現在おもに、工学部・農学部学生向けに数学（微分積分学）、物理（力学）で行っています。概要は以下の通りです。

☆高校レベルの内容が相当量習得できていない学生に対し、特別クラスを設け、週2回の授業を行います。授業の内容や方法も特別に工夫して、半期で通常のグループ（通常クラス）と同程度の学力になるようにします。

☆通常クラス（週1回の授業）では、学科によらないクラス編成を行って、複数クラス間で教科書や試験問題を統一します。教員間でも事前の打ち合わせを行っています。

☆茨城大学のeラーニングシステム **RENANDI**（レナンディ）を使って、授業や宿題等に積極的にeラーニングを取り入れています。反復練習によって基礎的な学力（計算力）を定着させることが狙いです。右の画面は、物理学（力学）の特別クラスで用いているeラーニング教材の一部です。物理が苦手なひともし楽しく感じちゃうかも…！



理系質問室 のススメ

大学教育センターでは、皆さんが理系科目でわからないところを質問したり、学習相談ができる環境を用意しています。その名も『**理系質問室**』。茨大生なら誰でも利用できます。ぜひ気軽に利用してください（詳細は掲示等で確認してください）。

大学教育センターの取組③ 根力（ねぢから）育成プログラム

茨城大学は、「大学・社会人生活を含むライフステージに不可欠な能力・素養」を『**根力（ねぢから）**』と定義し、その育成に力を入れます。「就職後に光る人材」の育成を目的として、従来の大学教育に加えて、就業して役立つ実学的な専門教育（単なる就職試験対策支援ではなく）を含むカリキュラムを提供します。この就業力育成支援カリキュラムを、「根力育成プログラム」と呼んでいます。

この取り組みは、2010年度の文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」GP（グッドプラクティス）に採択されました。下の表のように、学年が進むにつれてより本格的・実践的なプログラムが用意されています。まだスタートしたばかりの取り組みですが、これからどんどんと中身を充実させていきますので、積極的に活用してください！（学部によって履修の形態などは異なりますので、詳しくはガイダンス等で確認してください）

各期の全学目標		根力(ねぢから)育成プログラム			
第一段階 学生の自発的学びを後押しし、社会で活躍するための基礎となる能力＝根力を育成するための土台を築く フレッシュマンセミナー、高校生から大学生へキャリアアップ科目群、自らの方向性を確認して次の段階へ	根力養成プログラム				電子ポートフォリオにより、学生一人一人の学習過程を、入入学～卒業までの段階に分散している部局間でも共有
	1年	必修	4	フレッシュマンゼミナール	
	2年前期	選択必修	2	キャリアアップ科目群	
第二段階 根力強化プログラム：座学と実地体験を通じて社会人として要求される能力を理解・養成する スキル養成プログラム：個々の分野で直接求められる基礎的スキルを養成し、「資格」としてオーソライズする準備を整える	根力強化プログラム		スキル養成プログラム（教育課程外）		
	2年後期～3年前期	選択	4	「社会人・卒業生による講義を聞く」「社会人・卒業生と話す」「企画・プレゼン・コンペを自ら行う」「イベントを運営する」「インターンシップを行う」等 「情報系」「語学系」「公務員系」等、予想される学生のニーズに合わせて提供	
第三段階 実際の活動を通して、これまで培ってきた力を確認し、不足点を自覚して、自らを高めて行く	根力実践プログラム				
3年後期～4年	選択	2	「就職センター主催の各種就職イベント参加と事前準備・事後レポート」「実践・SAとしてのリーダーシップ」「同窓会／地域との連携企画（入学式・新入生ガイダンス・新歓祭・OC・茨城祭・卒業式等を活用）」等		

水戸キャンパス便利帖

2011.4

3 IT基盤センター

理学部 S棟 の1~2Fにセンターの施設があります。
 1F: マルチメディア第1教室(MM1)、
 2F: マルチメディア第2教室(MM2)、端末室、サイバーメディア演習室、事務室など。
 事務室: 平日 8:30~18:00

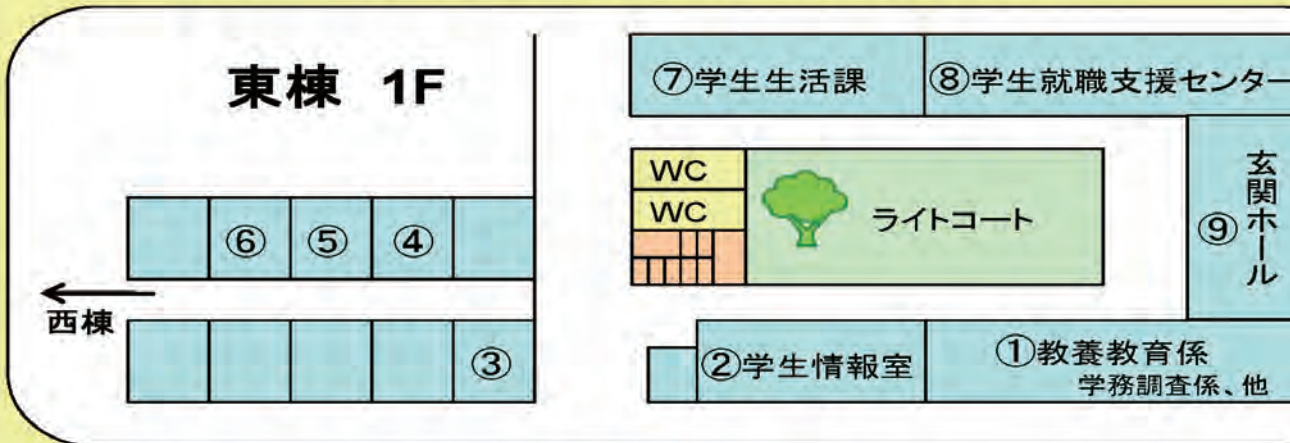
2 共通教育棟2号館

多くの教養科目の講義が行われます。

1F 共通10~15番教室 (14番はCALL教室)	授業時間 第1講時 08:50~10:20
2F 21~27番教室	第2講時 10:30~12:00
3F 30~37番教室	第3講時 13:00~14:30
4F 41~47番教室	第4講時 14:40~16:10
	第5講時 16:20~17:50

1 共通教育棟1号館

大学教育センターや学生センター(学務部)、講義室などがあります。



英語多読室 (西棟2F第5講義室)

講義室・自習室

東棟3F 第1~4講義室
 西棟2F 第5・6講義室、200A演習室
 西棟3F 300A教室、学生自習室(無線LAN)

留学交流課(東棟2F)

留学支援・奨学金・留学情報・国際交流館に関する窓口

⑤理系質問室(予定)


理系科目に関する質問を受け付けています。平日12:00~13:00
 時間と場所が変更になるかもしれません。詳細は掲示等で確認してください。

⑨自動証明書発行機


学割・成績証明書など即時交付






- 4 茨苑会館** 

1階に談話室及びレストラン＆ベーカリーが設置されています。
レストラン＆ベーカリー「SHIEN」
- 5 保健管理センター**

定期健康診断や健康に関わる各種相談、応急処置等の業務を行います。近隣の病院マップももらえます。
平日 8:30～17:15
- 6 図書館** 

蔵書は10万冊、共同学習室を備え、夜遅くまで利用可能
休日でも開館しています！
・授業のある期間 平日8:30～21:45 土日11:00～19:00
・休業期間 平日8:30～17:00 土日閉館
※ 詳しくは図書館ウェブ等にあるカレンダーも見てください。
- 7 福利センター(生協)** 

茨城大学生生活協同組合が次の事業を行っています。
(1F) 食堂、コンビニ、サービスショップ
(2F) グリル・カフェ、書籍部、理容室

パソコン室案内

①教養教育係(学務課)
教養科目の履修に関する窓口
各種証明書・学割発行に関する窓口(1年次生)

②学生情報室
インターネットに接続可能なコンピュータが設置されています。他にも学内でコンピュータが設置されている教室がたくさんあります。(右参照)

③非常勤講師控え室
非常勤の先生方の控え室です。

④履修相談室(学務課)
履修に関する質問や相談を受けています。(利用の際は教養教育係まで)

⑥なんでも相談室(学生生活課)
いろいろな困りごとや悩みごとについて自主的な解決を援助するため、学生相談体制を設けています。

⑦学生生活課
課外活動・奨学援助・学生寮・授業免除等に関する窓口

⑧学生就職支援センター
各種就職説明会を開催したり、就職相談も行っています。また求人票の開示やインターネットによる求人情報の検索ができるようになっています。

- 1** 総合科学棟S棟 1F
マルチメディア教室1(MM1) 80台
平日 08:50～18:00 で授業のないとき
 - 2** 総合科学棟S棟 2F
マルチメディア教室2 75台
平日 08:50～18:00 で授業のないとき
 - 3** 総合科学棟S棟 2F
センター端末室 30台
平日 08:50～18:00 で授業のないとき
 - 4** 理学部B棟 1F
英語学習室 60台
平日 08:30～17:30 で授業のないとき
 - 5** 総合研究棟K棟 1F
情報スペース 12台
平日 08:50-18:00
 - 6** 理学部C棟 1F*
学生自習室 33台
平日 08:30-17:30
 - 7** 共通教育棟2号館 1F
CALL教室 62台
月～木 13:00-17:50 (ヘッドホン有)
 - 8** 共通教育棟 1号館1F
学生情報室 26台
平日 08:30-18:30
 - 9** 図書館 2F*
図書館 48台
図書館の開館時間中に開放
- * 持込ノートパソコンによる無線LAN接続も可能
他にも、各学部が開放しているPC室もあります
休業期間中等は開放時間が変わります。

学生の声

先輩より、新入生へ

工学部情報工学科
3年 升本 つぐみ

教育学部社会選修
3年 小川 政幸

私の2年間の大学生活にアドバイスできるような誇れるものは一つもありません。その分後悔なら、たくさんあります。

私の後悔を教訓に、皆さんには実りある大学生活を送っていただきたい。

特に、まだ将来の展望がないという我が同志に。まずは何か始めてください。

それもできるだけたくさんのこと。

勉強や資格取得なんて堅いものじゃなくてもいい。

バイトやサークル、なんでもいい。人と関わることであればなおいい。

飲みすぎるくらいがいい。恋もたくさんすればいい。

記憶と出席回数と口座の残高だけあればなんだったっていい。

バカやるくらいがいい。失敗談もいつかはネタになる。

やってみてつまらなければやめてしまえばいい。また新しいことを始めればいい。

自分の為になりそうなことは辛くてももう少し続けてみる。

直接やりたいことにつながらないようなことだったっていい。

それでやりたいことが見つければ儲けだと思えばいい。

経験はマイナスにはなりません。

有り余る「暇」に溺れず、毎日を有効に使ってください。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今回は、皆さんがこれから受講する主体となる教養教育系の話を交えてお話させていただきたいと思います。

教養教育は、語学や人文、自然などといった科目に分けられ、「自らが選んだ授業」を受講することができます。その時に考えることは「どの授業を受講すればいいの?」ということだと思えます。

「面白い授業がいいなあ」「単位は落とさたくないなあ」と様々な選ぶ基準があると思えます。そんな中でも、教養教育を受講した時に私が感じたことで、授業を選ぶ際に大切なことは自らの「興味・関心」です。

たしかに単位を落とせば卒業などに支障をきたします。しかし、単位を落とす大きな理由として「欠席の多さ」や「勉強の不足」が挙げられます。いくら単位がとりやすいと言われる授業でも、大学では自ら学び取るという意志が大切です。「興味・関心」を持ちにくい授業でそのような意志を貫くことは容易ではありません。

シラバスをよく読み、自分が受けたい、受けてみたいと感じる授業を見つけ受講していただきたいと思えます。

編集後記

■今回の震災により不運にも亡くなられた方のご遺族に心よりお悔み申し上げます。合掌。(編集委員一同)